

2026年度、盛岡監督署における行政運営の重点課題について

令和6年における岩手県の一人平均年間総実労働時間は1,739時間と、減少傾向が継続しているものの全国平均より25時間長く、盛岡監督署管内でもいまだ違法な時間外労働が散見されるほか、長時間労働を理由とする脳心臓疾患や精神障害の労災請求は増加しており、過重労働による健康障害の防止対策の一層の徹底及び長時間労働の削減に向けた取組を推進していく必要があります。また、法令に関する知識や労務管理体制が十分ではないと考えられる中小企業等も認められるところであり、引き続き、きめ細かい支援を行っていく必要があります。

一方、当署の休業4日以上労働災害は減少傾向を維持しているものの毎年死亡災害が発生しており、労働災害のうち転倒災害はその3割強を占めているところであり、引き続き、転倒防止対策を含め労働災害防止対策に係る各種の取組を積極的に進めていく必要があります。また、令和7年5月、労働安全衛生法及び作業環境測定法が改正され、本年4月以降も順次施行されているところであり、個人事業者等の安全衛生対策の推進やストレスチェックの企業規模にかかわらず実施義務化、高年齢労働者の労働災害防止のため作業環境の改善等の努力義務化等全ての事業者への影響があることから、その内容の周知を積極的に進めていく必要があります。

これらの状況から、令和8年度に盛岡監督署が取り組む重点課題は

- ① 長時間労働の抑制及び過重労働による健康障害防止
- ② 中小企業等の事業場に対する丁寧な対応を含めた一般労働条件確保・改善対策
- ③ 管内の労働災害等の発生状況等にに応じた労働災害等の防止

として、積極的かつ懇切丁寧な行政展開を進めて参りますので、皆様方にはご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

令和8年の労働災害が急増しています！転倒災害が58%、2月死亡災害が発生

令和8年2月末までの休業4日以上労働災害が100件発生、昨年比で43件(75.4%)増加し、このうち転倒災害は58件で全体の58%を占め、昨年比31件(114.8%)と2倍以上増加しています。

この冬は昨年に比べて降雪量が多く寒い日が続いたことも要因ですが、皆様方には、引き続き、転倒災害を防ぐためホームページに掲載している「転倒災害防止対策事例集」を活用して、可能なところから設備の改善を図る等職場の安全環境の整備をお願いします。

また、2月16日、林業で死亡災害発生しました。発生状況は、広葉樹の伐採に際し、事前につる絡みの状況を認識し、周辺のつるを切断したのち伐倒したものの、高さ10m程のところでの別の広葉樹に絡んでいたつるが残っていたため伐倒木に引っ張られ、その別の広葉樹の幹が折れて飛来し、被災者の頭部に激突したものです。

当署における第14次労働災害防止計画では、死亡者数を0人とすることを目標としており、残念ながら本年もそれができません。また、死傷労働災害については、増加に歯止めをかけ、年2%ずつ減少させることを目標としています。このような状況下、この後は増加している労働災害の発生を抑え、昨年よりも減少に向かわせるとともに、これ以上の死亡災害を発生させないように、管内企業の皆様のご協力を得ながら、安全衛生活動の活性化とともに、設備、環境改善に係る各種取組を積極的に進めて参りたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



労働条件ポータルサイト「確かめよう労働条件」から電子申請ができます！

毎年4月を起算とする各種協定届が多く、窓口が混み合うところですが、労働条件ポータルサイト「確かめよう労働条件」を使うと、以下の4つの機能で電子申請が簡単・便利になります。

- ① 内容の異なる協定等の一括届出機能 → 作業負担の軽減
- ② 本社一括届出のCSVファイル自動作成機能 → ファイル作成が不要
- ③ 届出先の労働基準監督署の自動選択機能 → 検索作業が不要
- ④ 次回届出時のリマインド・複写機能 → 次回届出を効率化

対象手続きは、以下のとおり。

- ・36協定届
(建設業、自動車運転者、医師の協定にも対応)
- ・1年単位の变形労働時間制に関する協定届
- ・就業規則(変更)届

詳しくは、ウェブサイトにご活用ください。

ポイント1 内容の異なる協定等の一括届出機能

e-Gov電子申請では、協定等の内容が本社と異なる場合、事業場の数だけ別々に届出作業を行う必要がありますが、このポータルサイトを使えば、協定等の内容が同一の事業場ごとにまとめて届出作業を行うことができ、また、作成した数種類の内容の異なる届出を一括して届け出ることが可能です。

ポイント2 本社一括届出のCSVファイル自動作成機能

e-Gov電子申請では、本社一括届出を行う際は「対象事業場一括作成ツール」を用いて作成したCSVファイルを作成する必要がありますが、このポータルサイトを使えば、ポータルサイト上で入力した内容をもとに自動的にCSVファイルが作成・添付されます。

ポイント3 届出先の労働基準監督署の自動選択機能

e-Gov電子申請では、事業場の所属労働基準監督署を検索して、届出先を確認する必要がありますが、このポータルサイトを使えば、事業場の所在地情報を入力するだけで、所属労働基準監督署が自動選択されますので、届出誤りを防止することができます。

ポイント4 次回届出時のリマインド・複写機能

36協定届と1年変形届については、協定の有効期間が満了する30日前に、登録されたメールアドレス宛にリマインドメールを送信します。
また、e-Gov電子申請では、次回届出時には一から届出作業を行う必要がありますが、このポータルサイトを使えば、前回届出時の内容を複写して初期表示し、変更点のみ修正して届け出ることができます。



確かめよう労働条件 検索

労働条件ポータルサイト「確かめよう労働条件」から電子申請ができるようになりました!!

「確かめよう労働条件」を様々な4つの機能で電子申請が便利に!!

- 1 内容の異なる協定等の一括届出機能 → 作業負担を軽減!
- 2 本社一括届出のCSVファイル自動作成機能 → ファイル作成が不要!
- 3 届出先の労働基準監督署の自動選択機能 → 検索作業が不要!
- 4 次回届出時のリマインド・複写機能 → 次回届出を効率化!

電子申請形式作成支援ツール

対象手続き

- 36協定届
- 1年単位の变形労働時間制に関する協定届
- 就業規則(変更)届

以下のとおり検索いただき、ウェブサイトにアクセスしてご利用ください。

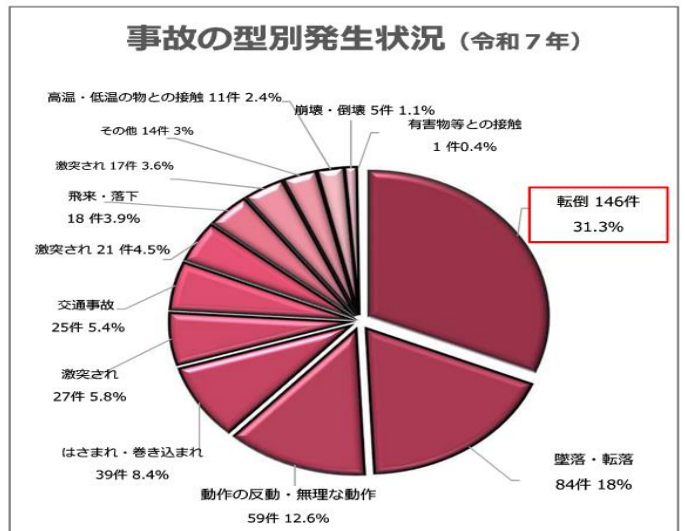
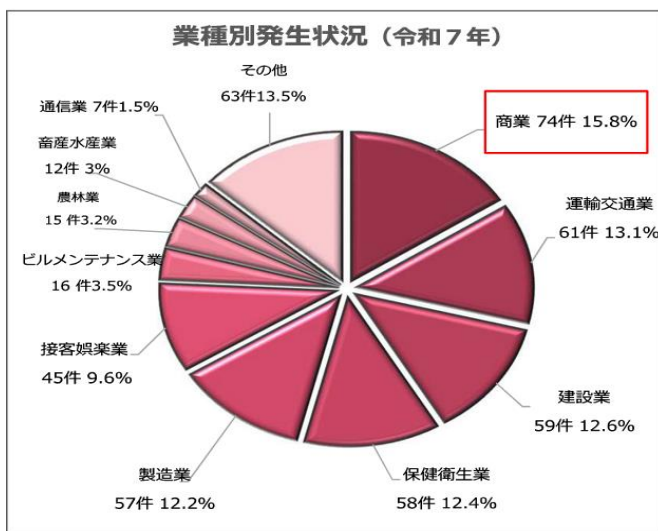
厚生労働省 都道府県労働局・労働基準監督署

2025年(令和7年2月速報値)の労働災害発生状況がまとまりました!

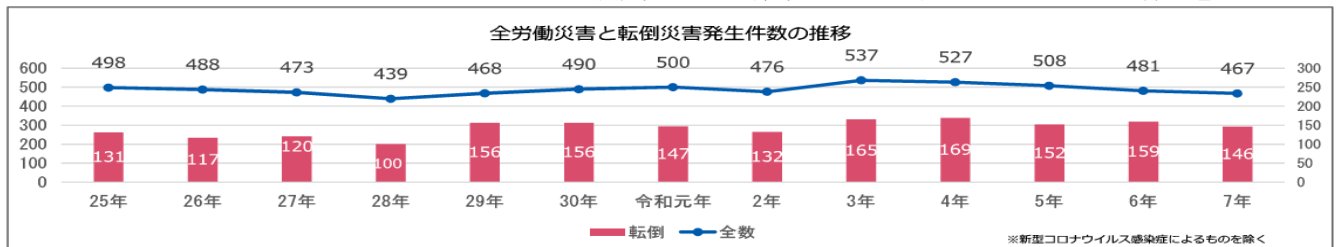
- 令和8年2月時点の速報値から、当署管内の労働災害発生状況を取りまとめました。概略は以下のとおりです。
- ◆死亡2名、畜産業→小型トラクターショベルを運転中、敷地内の沢に転落して当該重機の下敷きとなったもの
道路貨物運送業→フォークリフトのフォーク部分にパレットを載せ、持ち上げた状態で作業を行った後、はしごから降下中に墜落し、療養中であったものの死亡したもの
 - ◆全産業死傷計 467件 (前年同期比-7件、-1.5%)
 - ◆減少 製造業-3.4%、道路貨物運送業-3.7%、林業-18.2%、畜産業-53.8%、小売業-6.6%、社会福祉施設-2.2%、その他の保健衛生-1.7、ビルメンテナンス-33.3%
 - ◆増加 建設業+7.3%、接客娯楽業+40.6%、その他+43.2%
 - ◆当署重点課題…転倒災害の防止

当署で開催した転倒防止対策コンテスト結果を取りまとめた「転倒防止対策事例集」を作成し、災害防止団体等を通じ広くその活用を周知したほか、令和6年度より商業、社会福祉施設に係る労働災害防止連絡会議を開催するなど、当署の重点課題として取り組んだ結果、転倒災害は昨年度より減少傾向を示している。

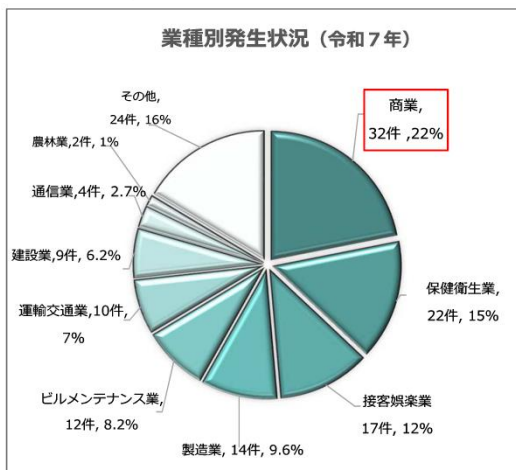
転倒災害 149件(←R7年:159件)、前年比-8.2%、全体の31.3%を占める
(商業は22%、保健衛生業15%で転倒災害の37%を占める)
年齢別で見ると40代以上で76%、女性が59%を占めている。



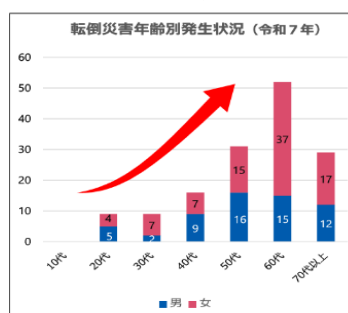
休業4日以上の労働災害(全労働災害)と転倒災害の推移…全労働災害は令和3年に急増したが、以降は減少傾向
転倒災害は全労働災害の3割強を占めたまま増減を繰り返している



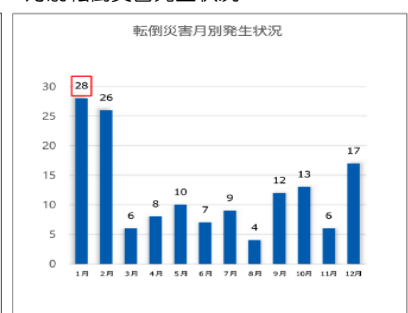
業種別の転倒災害発生状況



性別・年齢別の転倒災害発生状況



月別転倒災害発生状況



転倒による休業災害は、50歳以上の女性の比率が高くなっています。
また、気象状況の影響も大きく、特に冬季の発生が激増します。事業場においては、冬季の転倒を防止する対策が必要です。当署のHP上に掲載している「転倒災害防止対策事例集」には、ゴムマット、階段のヒーティング、滑りにくい靴の支給等工夫例が掲載されています。